限界を超える成長がある OVER THE LIMIT

２０２７年度

学　生　募　集　要　項

総合型選抜・ＡＯ入試（学部学科特色型）

１次選考：併願制

２次選考：専願制

※1 次選考に合格され、2 次選考に出願される際は専願制となるため、他大学・他の本学入試制度と併願することはできません。

Web 出願サイト操作方法は、別冊「Web 操作（出願～入学手続）の手引き」を以下の URL または QR からダウンロードのうえ、確認してください。

URL：https://www.oit.ac.jp/admission/outline/document.html

QR　：

特待生チャレンジ 制度対象

みらいを　つくる　つたえる　まもる。

大阪工業大学

OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

大阪工業大学　アドミッション・ポリシー

大阪工業大学は、優れた人間性と高い見識をそなえ、かつ工学、情報科学および知的財産学の各分野において、社会に貢献できる確かな専門的実力を身につけた人材を養成します。

すなわち、社会・産業界が求める実践的能力をそなえるとともに、新しい知と技の開拓に挑戦するプロフェッショナルを養成する場を提供します。

それにふさわしい人として、身につけた知識・技術を活かして将来社会で活躍したいと願う夢を持ち、他者と協働し、それを実現する意欲と情熱を燃やし続けることができる人の入学を求めています。

＜求める人物像＞

（１） 理工系の分野や知的財産の分野に興味を持っている人
（２） 「ものづくり」や新しい「仕組みづくり」が好きな人
（３） 得意とする分野において能力を高め、社会に活かしたいと思っている人
（４） 自分の中に潜む可能性を探求し、情熱と意欲を持ってことに当たれる人
（５） 地域や社会の特徴を理解し、その発展に貢献できる人

※各学部のアドミッション・ポリシーは本学入試情報サイトをご覧ください。なお、各学科のアドミッション・ポリシーは学科別要項（Ｐ．９～）に記載しています。

ＡＯ入試（学部学科特色型）　アドミッション・ポリシー

高等学校等在籍時の多様な活動や経験を通して身に付けた能力や豊かな人間性などに加え、志望する学部・学科の学問領域において、特筆すべき自作作品や活動等の実績または成果について、積極的かつ多面的に評価する入試制度です。１次選考では面接および書類審査を課し、様々な活動や経験を通してどのような能力を身に付けてきたか、人間的な成長を遂げたかを評価します。２次選考では書類選考を課し、本学で学ぶ意思と入学後のビジョンなどを評価します。面接は各学科のアドミッション・ポリシーに則った方法で実施します。

目　次

募集学部・学科・募集人員…… Ｐ．１
選考日程・選考会場等…… Ｐ．１
出願資格…… Ｐ．２
出願要領…… Ｐ．３
受験票…… Ｐ．３
受験上の注意…… Ｐ．４
合格発表…… Ｐ．４
一般入試 前期日程
「特待生チャレンジ制度」について… Ｐ．５
入学手続…… Ｐ．５
入学手続時納入金・在学中の学費
および委託徴収金…… Ｐ．６
「高等教育の修学支援新制度」にかかる
入学手続時納入金の取扱いについて… Ｐ．７
入学準備学習について…… Ｐ．７
ノートパソコンの準備について…… Ｐ．７
入試成績の開示について…… Ｐ．７
宿泊施設の案内…… Ｐ．７
個人情報保護について…… Ｐ．８

学 科 別 要 項

工 学 部
都市デザイン工学科……Ｐ．９
建築学科……Ｐ．１１
機械工学科……Ｐ．１３
電気電子システム工学科……Ｐ．１５
電子情報システム工学科……Ｐ．１７
応用化学科……Ｐ．１９
環境工学科……Ｐ．２１
生命工学科……Ｐ．２３

ロボティクス＆デザイン工学部
ロボット工学科……Ｐ．２５
システムデザイン工学科……Ｐ．２７
空間デザイン学科……Ｐ．２９

情 報 科 学 部
データサイエンス学科……Ｐ．３１
実世界情報学科……Ｐ．３１
情報知能学科……Ｐ．３１
情報システム学科……Ｐ．３１
情報メディア学科……Ｐ．３２

知 的 財 産 学 部
知的財産学科……Ｐ．３４

募集学部・学科・募集人員・入学年次

学部	学科	募集人員	入学年次
工学部	都市デザイン工学科	３人	１年次
	建築学科	３人	
	機械工学科	３人	
	電気電子システム工学科	４人	
	電子情報システム工学科	４人	
	応用化学科	４人	
	環境工学科	４人	
	生命工学科	４人	
ロボティクス＆デザイン工学部	ロボット工学科	３人	
	システムデザイン工学科	３人	
	空間デザイン学科	３人	
情報科学部	データサイエンス学科	２人	
	実世界情報学科	３人	
	情報知能学科	３人	
	情報システム学科	２人	
	情報メディア学科	３人	
知的財産学部	知的財産学科	１２人	

※募集人員は、総合型選抜・ＡＯ入試（課外活動評価型）を含めた人数です。
※選考結果により、学科の定める一定の基準に満たなかった場合には、募集人員未満の合格者数の発表になる場合があります。

選考日程・選考会場等

区分	選考日時	選考会場	出願期間	合格発表日
１次選考 （面接）	2026年 9月19日（土） 10：00～	【工学部・知的財産学部】 大宮キャンパス 【ロボティクス&デザイン工学部】 梅田キャンパス 【情報科学部】 枚方キャンパス	2026年 9月1日（火） ～9月7日（月） 【締切日消印有効】	2026年 9月28日（月）
２次選考 （書類審査）	－	－	2026年 9月28日（月） ～10月2日（金） 【締切日消印有効】	2026年 11月2日（月）

（注意）１．1次選考日当日、9：40までに集合してください。各キャンパスへのアクセス方法は本学Webサイト（https://www.oit.ac.jp/oit/access/）を確認してください。
受験者集合教室等については、選考会場入口付近に掲示します。
２．出願期間内にWebサイトでの必要事項の入力と出願書類の郵送を完了してください。
３．1次選考合格発表日(9月28日)から2次選考出願締切日(10月2日)までの期間が短くなっています。1次選考に合格された方は受験ポータルサイト「UCARO」を確認し、忘れずに必要な手続きを行ってください。

出　願　資　格

次の各項に該当する者

工学部　ロボティクス＆デザイン工学部　情報科学部

1．高等学校または中等教育学校を２０２７年３月卒業見込みの者
2．２次選考においては、本学を第１志望とし、合格すれば必ず入学する者（他の専願および併願制入試への再出願不可）※一般入試 前期日程「特待生チャレンジ制度」の出願可（Ｐ．５参照）
3．本学での学生生活や自分自身の進路、将来像に明確な目標がある者
4．志望する学部・学科が定めるアドミッション・ポリシーを理解し、本学で学びたい強い意欲と情熱を持っている者
5．【工学部（応用化学科・環境工学科・生命工学科を除く）・ロボティクス＆デザイン工学部】
「数学、理科、外国語の学習成績の状況（評定）の３教科平均値」が３．５以上の者(注)
【工学部（応用化学科）】
「数学、理科、外国語の学習成績の状況（評定）の３教科平均値」または「数学、理科の学習成績の状況（評定）の２教科平均値」が３．５以上の者(注)
【工学部（環境工学科・生命工学科）・情報科学部】
「数学、理科、外国語の学習成績の状況（評定）の３教科平均値」または「数学、外国語、国語の学習成績の状況（評定）の３教科平均値」または「全体の学習成績の状況（評定平均値）」が３．５以上の者(注)
6．入学までの期間および入学後の学生生活を有意義に過ごすため、学科ごとに設定している「準備学習科目」を入学までに自学学習し、さらに入学後の補習授業を受講する者

（各学科が定める「準備学習科目」）

志望学部・学科		準備学習科目
工　学　部	都市デザイン工学科、建築学科、機械工学科、電気電子システム工学科、電子情報システム工学科	「数学Ⅲ」および「物理」
	応用化学科、環境工学科	「数学Ⅱ」および「物理」「化学」「生物」のいずれか
	生命工学科	「数学Ⅱ」および「物理」、「化学」、「生物」、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」のいずれか
ロボティクス＆デザイン工学部	ロボット工学科、システムデザイン工学科	「数学Ⅲ」および「物理」
	空間デザイン学科	「数学Ⅱ」および「物理」「化学」「生物」のいずれか
情報科学部	全学科	「数学Ⅱ」

知的財産学部

1．高等学校または中等教育学校を２０２７年３月卒業見込みの者
2．２次選考においては、本学を第１志望とし、合格すれば必ず入学する者（他の専願および併願制入試への再出願不可）※一般入試 前期「特待生チャレンジ制度」の出願可（Ｐ．５参照）
3．本学での学生生活や自分自身の進路、将来像に明確な目標がある者
4．学部・学科が定めるアドミッション・ポリシーを理解し、本学で学びたい強い意欲と情熱を持っている者
5．「国語、外国語、地理歴史、公民の学習成績の状況（評定）の４教科平均値」または「全体の学習成績の状況（評定平均値）」が３．５以上の者(注)

全学部・学科 共通

（注）1.学習成績の状況（評定）の取り扱いについて
第１学年から最終学年１学期（または前期）までのものとします。ただし、２学期制の学校で、最終学年前期までのものが未定の場合は、前期中間までのもの、それが不可能な場合は第２学年までのものとします。
2.「３（２・４）教科平均値」の計算方法
評定平均値は、高等学校生徒指導要録に基づき、指定された教科すべての科目の評定の合計数を指定された教科すべての評定数で除した数値(小数点以下第2位を四捨五入)を記入してください。

$$\frac{\text{指定された教科すべての科目の評定の合計数}}{\text{指定された教科すべての評定数}}$$

出　願　資　格

１．出願方法

１次選考

別冊「Web 操作（出願～入学手続）の手引き」をよく読み、出願してください。

２次選考

受験ポータルサイト「UCARO」を通じて、１次選考合格者にお知らせします。

２．入学検定料

１次選考：１５,０００円　　２次選考：２０,０００円

３．出願上の注意

(1)出願書類の提出は、出願期間内に行ってください。
(2)出願書類に不備等がある場合は受付ができません。
出願にあたっては、書類を十分確認のうえ、できるだけ早期に行ってください。
(3)**一旦受け付けた出願書類および入学検定料は、返還しません。**
(4)提出された顔写真について、本人確認に支障をきたす著しい加工等が認められた場合は、再提出を求めることがあります。また、出願書類に虚偽・不正が認められた場合は、合格後であっても合格または入学許可を取り消すことがあります。

４．その他

身体に障がいがある方など、受験時や入学後の修学などにおいて特別な配慮が必要な場合は、出願に先立ち入試部に相談してください。その際、診断書等の提出を求めることがあります。
【相談期限　２０２６年８月２０日（木）】

受　験　票

受験ポータルサイト「UCARO」にて、受験票（PDF形式）を発行します。**受験票の郵送は行いません。受験票の発行方法は、別冊「Web操作（出願～入学手続）の手引き」で確認してください。**
受験票のダウンロード期間は以下のとおりですので、期間中に**自宅プリンターまたはコンビニエンスストアのプリントサービス**を利用して印刷してください。本入試では**１次および２次選考で同一の受験票を使用します**ので大切に保管しておいてください。

受験票ダウンロード期間
２０２６年９月９日（水）１０：００～１１月２日（月）２３：５９

受　験　上　の　注　意

１．選考日当日持参するもの

(1) 受験票（Ａ４サイズで印刷したもの。カラー・白黒は問いません）
(2) 自作作品、プレゼンテーション説明資料等
(3) 身分証明書（氏名、生年月日の記載があり、顔写真付きで選考日において有効なもの。
生徒証・マイナンバーカード・パスポート運転免許証・在留カード等）

２．選考会場での注意事項

(1)面接選考開始２０分前までに指定された場所に着席してください。選考開始後３０分以上遅刻した場合は、受験を許可しません。
(2)スマートフォンや携帯電話、ウェアラブル型端末(スマートウォッチやスマートグラス等)は、面接室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切ってください。
(3)面接中の途中退出はできません。
(4)不正行為を行った場合は、不合格とします。

３．その他

(1)公共交通機関の延着や事故により選考開始までに到着できない場合は､落ち着いて入試部に連絡してください。入試部の電話番号は受験票に記載しています。
(2)選考会場には駐車場を用意していませんので、車での来場はご遠慮ください。来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
(3)選考会場には付添人控室は設置しません。

【感染症に関する注意】

選考日当日、学校保健安全法施行規則で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合、他の受験者等に感染する恐れがありますので、原則として受験をご遠慮ください。
上記に該当する場合は、選考日当日までに本学入試部にご連絡ください。

合　　格　　発　　表

１．１次選考合格発表日　２０２６年９月２８日（月）

２．２次選考合格発表日　２０２６年１１月２日（月）

(1)正式な合格発表はポータルサイト「UCARO」の合否照会画面で行います。
「合格通知書」の郵送は行いません。
合格発表日の１０：００からUCARO（https://www.ucaro.net）で合否を照会してください。**照会方法は、別冊「Web操作（出願～入学手続）の手引き」で確認してください。**
(2)入学手続に関する案内は「UCARO」を通じてお届けします。**書類の郵送は行いません。**
(3)合否に関する電話・Ｅメール等での問い合わせには一切応じられません。
(4)出身学校長に対して選考結果を通知します。

一般入試 前期日程「特待生チャレンジ制度」について

本入試に合格し、入学手続を完了（入学手続時納入金を全額納入およびＷｅｂ入学手続）した方は、一般入試前期・均等配点型（Ａ日程・Ｂ日程）を無料で受験し、特待生にチャレンジすることができます。

特待生チャレンジ制度の詳細は、入学手続者を対象に１２月下旬に受験ポータルサイト「UCARO」を通じてお知らせします。

入　　学　　手　　続

１．入学手続方法

所定の入学手続期間内に入学手続時納入金を納入するとともに、受験ポータルサイト「UCARO」にて入学手続を行っていただきます。詳細については、入学手続案内で確認してください。

２．入学手続案内の入手方法について

入学手続案内は受験ポータルサイト「UCARO」内の「入学前サポートツール」からダウンロードしてください。**入学手続案内の郵送は行いません。**

入学手続案内のダウンロード方法は、別冊「Web 操作（出願～入学手続）の手引き」で確認してください。

３．入学手続期間

納入方法		入学手続期間	納入額	その他
分割納入	１次手続	2026年 11月2日（月）～11月9日（月）	入学金	所定の入学手続期間内に入学手続時納入金を納入し、Ｗｅｂ入学手続を行ってください。
分割納入	２次手続	2026年11月2日（月） ～2027年1月7日（木）	以下の合計額 ・授業料（前期分） ・教育充実費（前期分） ・委託徴収金 ・教材費	
一括納入		2026年11月2日（月） ～11月9日（月）	以下の合計額 ・入学金 ・授業料（前期分） ・教育充実費（前期分） ・委託徴収金 ・教材費	

（注意）１.本入試の２次選考は専願制です。合格すれば必ず入学することを前提としています。
２.所定の入学手続期間内に手続を完了しない場合は、入学することができません。
３.UCAROによる入学手続は、開始日の10：00より受け付けます。

入学手続時納入金・在学中の学費および委託徴収金

■工学部･情報科学部　　（単位:円）

内訳＼経費		1年次所要経費		2年次以降の所要経費	
		入学手続時納入	後期納入(10月)	前期納入(4月)	後期納入(10月)
学費	入学金	200,000	―	―	―
	授業料	655,000	655,000	655,000	655,000
	教育充実費	60,000	60,000	110,000	110,000
	計	915,000	715,000	765,000	765,000
委託徴収金	振興費	10,000	―	10,000	―
	学生互助会費	3,700	―	3,200	―
	計	13,700	―	13,200	―
教材費		3,000	―	―	―
合計		931,700	715,000	778,200	765,000
総計		1,646,700		1,543,200	

■ロボティクス&デザイン工学部　　（単位:円）

内訳＼経費		1年次所要経費		2年次以降の所要経費	
		入学手続時納入	後期納入(10月)	前期納入(4月)	後期納入(10月)
学費	入学金	200,000	―	―	―
	授業料	655,000	655,000	655,000	655,000
	教育充実費	85,000	85,000	160,000	160,000
	計	940,000	740,000	815,000	815,000
委託徴収金	振興費	10,000	―	10,000	―
	学生互助会費	3,700	―	3,200	―
	計	13,700	―	13,200	―
教材費		3,000	―	―	―
合計		956,700	740,000	828,200	815,000
総計		1,696,700		1,643,200	

■知的財産学部　　（単位:円）

内訳＼経費		1年次所要経費		2年次以降の所要経費	
		入学手続時納入	後期納入(10月)	前期納入(4月)	後期納入(10月)
学費	入学金	200,000	―	―	―
	授業料	520,000	520,000	520,000	520,000
	教育充実費	30,000	30,000	80,000	80,000
	計	750,000	550,000	600,000	600,000
委託徴収金	振興費	10,000	―	10,000	―
	学生互助会費	3,700	―	3,200	―
	計	13,700	―	13,200	―
教材費		3,000	―	―	―
合計		766,700	550,000	613,200	600,000
総計		1,316,700		1,213,200	

教育充実費：学校の施設設備関係およびその維持管理、ならびに課外活動への援助などに充当する費用です。
振興費：大阪工業大学後援会、大阪工業大学校友会等に対する援助費です。
学生互助会費：全学生による相互扶助の精神に基づく健康保持および福利向上を目的とする医療費給付等のための会費です。
教材費：1年次入学後の前期・後期で使用する英語科目の補助教材費用です。なお、教材は入学前の準備学習としても活用いただきます。

［備考］

(1) 消費税は課されません。
(2) 上記の金額は、経済情勢の著しい変動があった場合、改定することがあります。
(3) 工学部生命工学科に在籍し、臨床工学技士養成コースで学修する方は、病院実習費として4年次に年間100,000円程度が別途必要です。

「高等教育の修学支援新制度」にかかる入学手続時納入金の取扱いについて

本学は、国の「高等教育の修学支援新制度」（入学金・授業料減免、給付型奨学金）の対象機関として認定されています。これを受けて、2027年度に各学部へ入学される方の入学手続時納入金につきまして、次のとおり取扱うこととします。

全ての入学手続時納入金（入学金、授業料・教育充実費〔前期分〕および委託徴収金）は、本要項に記載のとおり一旦納入いただきます。同制度の対象者には、入学後（注）、それぞれの支援区分に応じて減免額を還付します。但し、入学手続時に全額納入が困難な方に限り、入学手続時納入金から前期授業料のみ予め減免した金額で入学手続が可能です。
詳細は（https://www.oit.ac.jp/admission/outline/shien/）をご確認ください。
［注］入学後すぐに「進学届」を日本学生支援機構に提出することが必要です。

入学準備学習について

本入試の入学予定者に対して、入学までの間に入学準備学習プログラムを実施します。
詳細については、入学手続後にお知らせします。

ノートパソコンの準備について

本学では、学生全員にノートパソコンの所持を必須としています。すでにお持ちのパソコンを使用いただくことも可能ですが、授業等で使用するため、大学が定める仕様とおよびソフトウェアの要件を満たしている必要があります。詳細については、入学手続後にご案内します。

宿泊施設の案内

受験にあたって、本学近辺に宿泊が必要な受験者や保護者は、学園が設置する宿泊施設（大宮キャンパスに隣接）を利用することができます。希望する場合は、宿泊施設に直接申し込んでください。

１．宿泊施設　研修センター：〒５３５－０００３
大阪市旭区中宮５－１６－２９

２．宿泊料金　１，０００円（税込み）　１人１泊
（諸般の事情により価格改定する場合があります）
※満室になり次第、締め切りますのでご了承ください。

３．申込先　株式会社常翔ウェルフェア
ＴＥＬ．０６－６１８０－６０８５
ＭＡＩＬ．reservation@joshowelfare.co.jp
受付時間９：００～１７：００（日・祝日を除く）

※メールもしくはお電話で空き状況を確認後、利用申請書をご送付ください。
詳しくは常翔ウェルフェアホームページ内、各種施設利用案内をご参照ください。
（https://joshowelfare.co.jp/business/facility/）

個人情報保護について

１．大学が取得する個人情報の利用目的

入試実施のため取得する個人情報については、当該入試実施、入学までに必要な諸案内、学生福利厚生組織である(株)常翔ウェルフェアからの諸案内、学園情報の諸案内、各種統計資料作成のための個人を特定しない集計処理等に利用します。

２．第三者への提供

法令に定める場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ることなく、第三者に個人情報を提供することはありません。

３．個人情報保護方針

学校法人常翔学園が定める個人情報保護方針および本学が保有している個人情報の取扱いの詳細については、本学 Web サイト（https://www.oit.ac.jp/oit/policy/）で確認してください。

学 科 別 要 項

工学部　都市デザイン工学科

１．アドミッション・ポリシー

都市デザイン工学科は、都市および地域を対象に、自然環境と調和し共生できる安全・便利・快適な人間活動環境の創造に必要な社会基盤の整備や維持管理にかかわる学理と技術、およびこれに関係するシステムを学び、かつ考究することに情熱を有し、持続可能な地域の発展に貢献することをめざす人物の入学を求めています。

＜求める人物像＞

（１）都市デザイン工学の高度な専門知識と技術を修得し、考究するのに必要な基礎的知識を有している人
（２）都市デザイン工学に関する研究や開発を主導する高度な技術者や研究者をめざし、新たな知識や技術の創造に向けての思考力、洞察力、行動力を有している人
（３）専門性を基礎とし、倫理観と責任感のある高度技術者、研究者として持続可能な社会の形成に生涯を通じて貢献する意欲ある人
（４）人間的な成長および自己実現をめざす向上心を持ち、共同作業の重要性を認識し実行できる人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	都市デザイン工学に関連する成果品や作品の説明資料 ※成果品 … 都市デザイン工学に関する課題や問題点を抽出し、それに対して、文献を調べる、実験を行う、現場で調査するなどして作成した報告書など ※作　品 … 都市デザイン工学に関連する構造物の模型や図面など

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①成果品や作品に関するプレゼンテーション（１０分程度）
②上記①に関する口頭試問
③以下に関する口頭試問
・志望理由
・都市デザイン工学が扱う学問や技術および社会における役割
・将来の目標・進路

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

①成果品や作品
※成果品や作品が大型、重量物などの理由で持参できない場合は、写真撮影もしくはスキャニングし、説明資料のページに含めてください。
②説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○※	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）学修意欲と明確な進路目標
（３）成果品や作品の秀逸さ

工学部　建築学科

１．アドミッション・ポリシー

建築学科は、人間が生活し、様々な活動を行うための「建物・まち」やその環境を社会のニーズに応えるように創造し、デザインする人材、すなわち、建築家、建築技術者、プランナー、デザイナーなどの建築のプロフェッショナルを養成します。

＜求める人物像＞

（１）自分の能力の向上に情熱と意欲を持って努力できる人
（２）人間の健康と幸福をめざして、幅広い分野の人々と協働できる人
（３）技術分野に加えて、文化や芸術分野にも興味を持っている人
（４）快適・安全で美しい「建物・まち」づくりに関する能力を高め、社会や地域に貢献したいと思う人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	所属教育機関（在籍校）での建築設計課題や建築設計競技などに応募した作品２点 ※各々Ａ３サイズ・片面に縮小したカラーコピーを提出すること。 ※Ａ３サイズ・片面に縮小したカラーコピーは、１作品を構成する枚数分をそれぞれ提出すること。 ※２作品のうち、必ず１作品は個人作品とすること。 ※グループ作品を提出する場合は、本人の役割を明らかにする書類（指導教員作成・様式任意）を添付すること。

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。

（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。

（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】

①自作作品２点（本学科が指定する書類）に関するプレゼンテーション（５分程度）

②志望理由書に基づく志望理由に関するプレゼンテーション（５分程度）

③上記①および②に関する口頭試問

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

自作作品２点（本学科が指定する書類）　各２部

※２作品とも、Ａ３サイズ・片面に縮小したカラーコピーを持参してください。

※Ａ３サイズ・片面に縮小したカラーコピーは、１作品を構成する枚数分をそれぞれ持参してください。

（２）プレゼンテーションの方法

自作作品２点（本学科が指定する書類）を面接官に２部ずつ提出し、原本をホワイトボードに貼るなどして口頭により行ってください。

※ＰＣ機器等の使用は認めません。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度

（２）課題や作品に取り組む能動的姿勢

（３）建築や都市に関わる設計並びに論考における能力の秀逸さ

工学部　機械工学科

１．アドミッション・ポリシー

機械工学は、自動車、航空、宇宙、ロボット、環境などあらゆる分野の産業を支える根幹の学問です。機械工学科は、グローバルで多面的な視野に立ち、高い倫理観と責任感を持って、機械工学に関する問題に取り組める実践的なプロフェッショナルを養成します。

＜求める人物像＞

（１）機械工学に興味を持っている人
（２）学んだ知識を実際の問題に適用し、最新の工学的ツールを駆使しながら解決する能力を身につけようとする意欲のある人
（３）与えられた制約の下で解決手法を導き、それを計画的に実現してまとめる創造的なデザイン能力を身につけようとする意欲のある人
（４）自主的かつ継続的に学習しようとする向上心の強い人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	ものづくりや調査研究などに関連する自作作品・活動の内容を示す資料 ※各種団体のコンテストに参加し高評価を得たことが証明できる書類がある場合は提出してください。

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①ものづくりや調査研究などに関連する自作作品・活動に関するプレゼンテーション（１０分程度）
②本学科のアドミッション・ポリシーに関する口頭試問（基礎学力の試問を含む）
③以下に関する口頭試問
・志望理由
・入学までの学修計画
・将来の目標・進路
・機械工学が扱う学問や技術
・在学中に取り組みたい課外活動

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

①製作物
※製作物が大型、重量物などの理由で持参できない場合は、写真撮影もしくはスキャニングし、説明資料のページに含めてください。
②説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は、下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○※	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）作品・活動の秀逸さ
（３）作品製作・活動に主体性があり、その作品・活動を十分に理解していること
（４）勉学意欲が旺盛であること
（５）入学後も「モノラボプロジェクト」など競技・コンテストを行う課外活動団体に主体的に参加する意欲があること

工学部　電気電子システム工学科

１．アドミッション・ポリシー

電気電子システム工学科は、今日の電気・電子・情報工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子・情報工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気工学と電子工学は、情報工学と融合する形で目覚ましい発展を遂げており、その領域も多岐にわたります。そのため単なる一分野の専門知識だけでは不十分であり、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらに現代社会では、人や環境に調和した技術の開発が求められています。

＜求める人物像＞

（１）広く電気・電子・情報工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人
（２）これまでに学んできた知識を進化させて「ものづくり」に応用する意識のある人
（３）人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者をめざす向上心のある人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	以下２つの内容に関する書類 ①自作作品・活動や自らの取り組みなどを具体的に記述した書類 Ａ４サイズ・１枚、字数制限なし［様式任意］ ②小論文（テーマ：「大学卒業後の自分」） Ａ４サイズ・１枚、８００字以内［様式任意］

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①自己ＰＲプレゼンテーション（３分程度）
※将来の進路・目標に関する内容を含めること。
②以下のいずれかに関するプレゼンテーション（１５分以内）
・電気電子工学に関連する自作作品に関する内容
・その他、電気電子工学に関する自らの取り組み
③上記①・②および本学科のアドミッション・ポリシーに関する口頭試問（基礎学力の試問を含む）

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は、下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○※	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）作品・活動の秀逸さ
（３）学修意欲と明確な進路目標

工学部　電子情報システム工学科

１．アドミッション・ポリシー

電子情報システム工学科は、電子工学、情報、通信、システムの分野において、国際水準の基礎学力と社会人基礎力を身に付け、社会・産業界が求める実践的な専門知識やスキルを持った人材を養成します。このことから、身に付けた能力を活かして社会で活躍したいという強い意志を持ち、それを実現するための努力を惜しまない学生の入学を求めています。

＜求める人物像＞

（１）コンピュータを中核とした電子工学に興味を有する人
（２）電子工学のハードウェア開発技術、ソフトウェア開発技術、情報通信・ネットワーク技術、システム化技術を学ぶことによって、将来これらの知識や技術を社会に役立てたいと考えている人
（３）自ら進んで学ぼうという意欲のある人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに､志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	自作作品・活動または自分自身のアピールポイントなどを具体的に記述した書類（制作や活動が共同で行われた場合は、自分自身が貢献した部分を明示すること） Ａ４サイズ・字数制限なし［様式任意］ ※電気、情報、通信関連で保有資格があれば、資格・検定証明書等のコピーを提出してください。

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに､学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①自己ＰＲプレゼンテーション （１０分程度）
※志望理由および特筆すべき活動成果に関する内容を必ず含めること。
②上記①および以下の出願書類等に関する口頭試問（数学・物理の基礎学力の試問を含む）
・志望理由書
・本学科が指定する書類
・入学前・入学後の学修計画

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は、下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○※	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）高校までの基礎学力
（３）主体的な行動力
（４）学修意欲と明確な進路目標

工学部　応用化学科

１．アドミッション・ポリシー

応用化学科は、社会を支える「化学」の専門知識や技能を身に付け、自然科学の真理究明や科学技術の発展に貢献する意志を持ち、さらに国際的に活躍できる能力と倫理観を併せ持つ人材の育成を目標としています。地球環境に調和した豊かな社会を築くために、現代社会が抱える課題を主体的に発見し、「化学」の力で解決しようとする意欲のある人材を求めています。

＜求める人物像＞

（１）「化学」を中心とする自然科学に対して幅広い興味や好奇心を持っている人
（２）「実験や観察」が好きで、新しい「材料」や「物質」をつくり出すことに熱中できる人
（３）自ら学ぶ意欲を持ち、挑戦心が旺盛で活力がある人
（４）化学的な知識、技能およびコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身に付け、将来、工学の分野で国際的に活躍できる技術者や研究者を目指そうとする人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに､志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	高校時代に取り組んだ科学に関する探究学習や課題研究、コンテストなどの中から１つ選び、その内容を具体的に説明せよ。 Ａ４サイズ・字数制限なし［様式任意］

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに､学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①これまでに経験した実験に関するプレゼンテーション（１０分程度）
②自己ＰＲ（志望理由）プレゼンテーション（３分程度）
③上記①、②および以下に関する口頭試問（基礎学力の試問を含む）
・本学科のアドミッション・ポリシー
・入学前・入学後の学修計画
・将来の目標・進路

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は、下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○※	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）自分の考えを快活かつ理路整然と述べることができること
（３）化学に関する基礎知識を有していること
（４）科学プレゼンテーション（基礎となる理論や法則→実際に行った操作手順→結果→考察）ができること

工学部　環境工学科

１．アドミッション・ポリシー

環境工学科は、身近な環境から地球環境に至るあらゆる環境問題を解決するための、工学技術を身に付けた人材を養成します。工学分野のみならず、理学、農学、社会科学など幅広い分野での素養をそなえ、環境共生を図りながら資源循環型社会をめざす技術者を育成します。そのために、世界各地で生じている多様な環境問題に常に関心を持ち、身に付けた能力を活かして献身的に問題解決に貢献する意欲を持つ人を求めています。

＜求める人物像＞

（１）環境問題に関心があり、技術を通じて解決に貢献したいという情熱を持っている人
（２）身の回りの地域とともに、地球的規模の環境問題解決についてもかかわっていきたい人
（３）理科や数学が好きで、その能力を発展させて実際の問題解決に応用したいと思っている人
（４）実験や野外調査に興味があり、それらを通じて現象を解明する能力を身に付けたい人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	これまでに環境と持続可能性について取り組んだ内容とその成果に関する内容を具体的に記述した書類 Ａ４サイズ・字数制限なし［様式任意］

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①これまでに環境と持続可能性について取り組んだ内容とその成果に関するプレゼンテーション（１５分程度）
※取り組んだ内容とその成果が、自身に対してどのような影響を与えたかを内容に含めること。
②本学科のアドミッション・ポリシーに関する口頭試問（基礎学力の試問を含む）

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は、下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○※	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）環境問題への関心度
（３）実験や調査に取り組む主体性と積極性
（４）科学的分析力と論理的思考力
（５）高校までの基礎学力

工学部　生命工学科

１．アドミッション・ポリシー

生命工学科は、「バイオ・健康・医療・食品」分野で活躍できる技術者･研究者を育成するため、生命科学履修モデルと医工学履修モデル、および臨床工学技士養成コースを用意しています。そこで、

１）遺伝子・細胞・臓器などのライフサイエンスの知識を身に付け、生命を探究することで医療や生活の向上に役立ちたい人

２）生物・材料・機械・電子などの理工学の知識を身に付け、診断機器やヘルスケア機器、人工臓器、再生医療などの分野で活動したい人

３）医学・臨床工学などの知識と技術を身につけ、臨床工学技士として医療分野で貢献したい人

など、医療・健康産業やバイオ産業、医療現場で活躍したい人の入学を歓迎します。

＜求める人物像＞

（１）生命の仕組みを探究したい人、それらをものづくりに応用したい人、あるいは病気の治療に活かしたい人

（２）実験およびその結果について考えることが好きな人

（３）情熱と倫理観を持って自分自身を向上できる人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに､志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	探究学習や課題研究などの実験や調査において主体的に取り組んだ内容を具体的に記述した書類 Ａ４サイズ・字数制限なし［様式任意］

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに､学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①探究学習や課題研究などの実験や調査において主体的に取り組んだ内容のプレゼンテーション（５～１０分程度）
②自己ＰＲ（志望理由）プレゼンテーション（３分程度）
③以下に関する口頭試問（基礎学力の試問を含む）
・入学前・入学後の学修計画
・将来の目標・進路

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は、下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○※	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）高校までの基礎学力
（３）学力の３要素（「主体性・多様性・協働性」「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」）を総合的に評価）
（４）生命工学に関する活動の実績・成果

ロボティクス＆デザイン工学部　ロボット工学科

１．アドミッション・ポリシー

ロボットとは、人間が時代ごとに描いてきた「理想の機械」の姿であり、地平線のように近づくにつれて先へと広がり続ける存在です。
ロボット工学科は、そのようなロボットを追い続けるために、機械工学・電気電子工学・情報工学・計測制御工学など幅広い工学分野の知識・技術を横断的に融合したロボティクス・メカトロニクスと呼ばれる技術分野を活用します。これらの広い領域の理論を体系的に修得し、理論に基づいた実践的なものづくりを通して、自ら最後までやり抜く開拓精神を育み、将来、ロボット業界のみならずあらゆる産業界において貢献できる技術者を育成します。

＜求める人物像＞

（１）ロボティクス・メカトロニクス機器の仕組みなどに興味があり、それらを理解するために積極的に探究したいと思う人
（２）ロボティクス・メカトロニクスに関するものづくりが好きで、機械や電気などの知識によって、これまでにない新しいものをつくりたいという夢と情熱を持っている人
（３）ロボティクス・メカトロニクスに関するものづくりに必要な専門知識・専門技術を修得するために必要な物理・数学・語学などの基礎学問をおろそかにせず、粘り強く地道に勉学を積み重ねられる人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内） **※以下の内容も記述すること。** **本学部・学科のWebサイトや動画コンテンツなどの閲覧または** **オープンキャンパス参加を通じた気づきと興味のある研究内容**
本学科が指定する書類	自作作品・活動に関する内容を具体的に記述した書類 Ａ４サイズ・字数制限なし［様式任意］

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①自己ＰＲ（志望理由）プレゼンテーション（３分程度）
②自作作品・活動に関するプレゼンテーション（１０分程度）
③本学科のアドミッション・ポリシーに基づく口頭試問（基礎学力の試問を含む）
④以下に関する口頭試問
・入学前・入学後の学修計画
・将来の目標・進路

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

①自作作品
※自作作品が大型、重量物などの理由で持参できない場合は、写真撮影もしくはスキャニングし、説明資料のページに含めてください。
②説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は、下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○※	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）作品・活動の秀逸さ
（３）学修意欲と明確な進路目標

ロボティクス＆デザイン工学部　システムデザイン工学科

１．アドミッション・ポリシー

システムデザイン工学科は、低年次では機械工学・電気電子工学・情報工学を基礎として幅広く学び、高年次では、知能工学、人間情報工学、デジタルツインの各コースにおいて専門性を深めます。修得した知識や技術を活用し、ユーザ視点から社会や人々の課題を捉え、人が人らしく豊かに暮らせる社会の実現を支えるものづくりやサービスを創出できる人材を育成します。そのために、システムデザイン工学科は、以下のような人物を求めます。

＜求める人物像＞

（１）人が人らしく豊かに暮らす社会・未来の実現に、工学の専門性から貢献したいという想いを持っている人
（２）ものづくりを通したシステムやサービスの創出に向けて、柔軟な発想とチャレンジ精神を持っている人
（３）社会や人々の課題に関心を持ち、基礎から専門まで広い領域での知識を深め、経験を積み重ねながら、粘り強く学び続ける姿勢を持っている人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	自作作品・活動に関する内容を具体的に記述した書類 Ａ４サイズ・字数制限なし［様式任意］

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①自作作品・活動に関するプレゼンテーション（１５分程度）
②以下に関する口頭試問（基礎学力の試問を含む）
・志望理由
・高校で学んだ学習項目
・入学前・入学後の学修計画
・将来の目標・進路

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は、下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○※	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）作品・活動の秀逸さ

ロボティクス＆デザイン工学部　空間デザイン学科

１．アドミッション・ポリシー

空間デザイン学科は、工学技術とデザインの基礎的能力をしっかりと身につけ、生活文化や環境を見据える広い視野に立って、ＰＢＬ（Problem Based Learning：実践的な課題解決を通した学修）で養ったものづくりの実践力で社会に貢献できる建築デザイナー、プロダクトデザイナーを育成します。そのために空間デザイン学科は、以下のような人物を求めます。

＜求める人物像＞

（１）自然科学の素養や文化・芸術、デザインに関する知識と、ものづくりに関心を持つ人
（２）協働で問題解決に取り組むための、コミュニケーション力と持続力のある人
（３）異文化への理解とグローバルな実践力を持ち、地域性を尊重しつつも幅広い活動領域を開拓できる人
（４）人間、社会、自然に広く関心を持ち、豊かな社会を実現するために貢献する意志のある人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに､志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	ポートフォリオ（作品集、活動報告書等）［様式任意］

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに､学修計画を具体的に記述（１,０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①自作作品・活動に関するプレゼンテーション（１０分程度）
②本学科のアドミッション・ポリシーに基づく口頭試問（基礎学力の試問を含む）
③以下に関する口頭試問
・志望理由
・入学前の学修計画
・将来の目標・進路

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は、下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○※	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学科のアドミッション・ポリシーの理解度と学修意欲
（２）作品・活動の秀逸さ
（３）文系、理系の枠を超えた広範な学問領域に関心を持ち、自由な発想を展開できる想像力
（４）他人の意見を尊重しながら自身の意見も述べられるコミュニケーション能力

情報科学部（全学科）

１．アドミッション・ポリシー

データサイエンス学科

これからの産業には現状の改善だけではなく、新しい価値を生み出すことが求められています。勘や経験をもとにするのではなく、科学的な分析に基づいたシステム設計が求められています。一方で情報技術の発展は、想像を超えるデータの収集とその分析を可能にしました。
データサイエンス学科では、情報技術だけではなくデータ分析能力やマネジメント能力、問題解決能力を身につけることで、新たな価値を創造できるデータサイエンスのプロフェッショナルを育成します。

＜求める人物像＞

（１）行動や現象に規則性を見出したり、新たな発見をしたりする能力を身につけたい人
（２）情報技術だけではなく社会システムに関する知識を身につけたい人
（３）産業における情報システムの企画・設計に興味のある人
（４）組織運営や企業経営に興味がある人

実世界情報学科

現実社会にある課題に取り組むためには、問題が発生している実世界の空間的状況や時間的変化を把握したうえで、人への情報提示や機器の制御によって問題の解決を図っていく必要があります。実世界情報学科は様々なセンサによる実世界情報の収集と伝送、認識と理解に基づく実世界情報の可視化や自動機器の制御を行う一連の技術を習得させ、現実的に課題を解決していける実世界情報のプロフェッショナルを育成します。

＜求める人物像＞

（１）持続可能な社会を目指すうえで取り上げられている様々な課題に関心がある人
（２）情報技術に関心を持ち、机上の知識ではなく実際に応用することに意欲のある人
（３）技術者の社会的責任について理解し、それを誠実に遂行しようとする倫理観を持つ人
（４）多様な人々と協働してプロジェクトを推進する力を身につけたい人

情報知能学科

情報知能学科では、機械学習や知能情報処理、各種の最適化技法などを通じて、人工知能(AI)や情報技術に関する深い知識・スキルを身につけ、知能システムの中核を創ることができる人材、ならびにソフトウェア・ハードウェアに加えて、センサや機器制御などに関して得た知見を活用し、実環境に即した知的なシステムを構築できる人材を育成します。

＜求める人物像＞

（１）人工知能(AI)や情報技術に興味があり、深く学びたい人
（２）AI などの情報技術を使って、機器やシステムを動かしてみたい人
（３）ソフトウェアだけでなく、コンピュータや電子機器などのハードウェアにも興味がある人
（４）他者と協調してチームワークで課題を解決する力を身につけたい人

情報システム学科

情報システムは、社会、産業のあらゆるところで重要な役割を果たし、無くてはならないものとなっています。情報システム学科は、情報技術を適用し、社会の要求・ニーズを満たす情報システムを設計、開発、運用できる能力を有するシステムエンジニアを育成します。

＜求める人物像＞

（１）社会の問題に強く関心を持ち、その問題解決に向けて新しいシステムを提案・開発することに興味のある人
（２）いろいろな技術を統合して、新しい価値を生む「システムづくり」に興味のある人
（３）人と人とのかかわりを大切にし、互いに協調して大きな仕事を達成したいという思いのある人
（４）筋道立ててものごとを考え、話すことができる人

情 報 メ デ ィ ア 学 科

情報メディア学科は、情報技術が社会・文化に与える影響について幅広い知識を身につけ、情報社会において活躍できる人材を輩出するため、情報学の視点から画像・音・言語・体感およびそれらの複合メディア情報技術を駆使して人間とシステムの自然なコミュニケーション環境を実現する情報メディアプロフェッショナルを育成します。

＜求める人物像＞

（１）人にやさしく直感的な情報システムの開発に興味のある人
（２）画像・音・言語・体感といった各種メディアの処理技術に興味のある人
（３）人間と情報とのかかわりに興味のある人
（４）デジタルコンテンツによるコミュニケーション能力を身につけたい人

２．出 願 書 類（全学科）

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに､志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学部が指定する書類	情報・データサイエンス分野における、自作作品・活動に関する内容を記述した書類 Ａ４サイズ・字数制限なし［様式任意］ ※作品・活動内で用いた情報・数理技術の詳細についても記述すること。 ※作品の場合、作品概要だけでなく、その作品制作の背景と意義、作品の構成が分かる仕様、作品の動作等を述べること。 ※活動の場合、活動概要だけでなく、その活動の背景と意義、活動の時系列での推移がわかる進捗状況、活動の結果得られた成果について述べること。

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに､学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法（全学科）

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）

【面接内容】
①自作作品・活動に関するプレゼンテーション（１０分程度）
②上記①および「本学部が指定する書類」に関する口頭試問
③志望学科のアドミッション・ポリシーに関する口頭試問（基礎学力の試問を含む）
④以下に関する口頭試問
・志望理由
・入学前・入学後の学修計画
・将来の目標・進路

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

プレゼンテーションについて

（１）プレゼンテーションに必要なもの

説明資料（パワーポイントまたはＰＤＦにまとめたもの）２部［様式任意］
※説明資料のページ数は定められた時間内にプレゼンテーションできる範囲としてください。

（２）プレゼンテーションの方法

プレゼンテーションは、受験者が事前に用意した説明資料を基に行います。ＰＣ機器を使用してプレゼンテーションを行う場合は、ＰＣ機器は各自で持参してください。
プレゼンテーション設備は、下記を確認のうえ、定められた設備内でプレゼンテーションを行ってください。

ＰＣを用いたプレゼンテーションの可否	プレゼンテーション設備（大学が用意するもの）		
	プロジェクタ	ＰＣ接続機器	ホワイトボード
○	○	○	○

※接続機器はＨＤＭＩケーブル（Type-A）またはＲＧＢケーブルのみ用意する。
その他のケーブル（Type-C ケーブル等）は各自で用意すること。

本入試における評価のポイント

（１）本学部・学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）作品・活動の秀逸さ
（３）学修意欲と将来の目標

知的財産学部　知的財産学科

１．アドミッション・ポリシー

知的財産学部知的財産学科は、知的財産の創造・保護・活用という知的創造サイクルの各段階において、大きな役割を果たすことができる総合的・専門的人材を養成します。このために知的財産に関する関心と意欲を強く持って真摯に学修に励み、意欲的に自己を成長させる人材を広く求めます。

＜求める人物像＞

（１）知的財産に関する専門能力を有する専門家として産業界での活躍をめざす人
（２）知的財産に関する専門資格を有し、知的財産の創造・保護・活用への貢献ができる人材をめざす人
（３）企業等において知的財産を理解する人材として幅広く活躍できることをめざす人

２．出 願 書 類

（１）１次選考

高等学校等調査書	文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヵ月以内に作成したもの（開封無効）
志望理由書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、志望理由および出身学校での活動内容を記述（８００字以内）
本学科が指定する書類	小論文 （テーマ：自身がレポートやプレゼン資料を作成する際に書籍やWEB情報を利用した場合、知的財産権上考えなくてはならないことを挙げ、知的財産について考えなかった場合に起こり得る問題・影響について解説してください。） Ａ４サイズ・１枚、１，０００～１，２００字［様式任意］

（注）調査書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

（２）２次選考

学修計画書	本学所定の様式をA4サイズに印刷したものに、学修計画を具体的に記述（１，０００字程度）

（注）１次選考合格者に、２次選考の案内を受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を通じてお知らせします。

３．選 考 方 法

１次選考

書類審査および面接により、多面的かつ総合的に評価します。
（１）書類審査：提出された出願書類について審査を行います。
（２）面接：個人面接（２０分程度）　※受験者多数の場合は、グループ面接を行うことがあります。

【面接内容】
以下に関する口頭試問
・志望理由
・高校で学んだ学習項目
・入学前・入学後の学修計画
・将来の目標・進路
・学科が指定する書類

２次選考

書類審査：提出された学修計画書について審査を行います。

本入試における評価のポイント

（１）本学部・学科のアドミッション・ポリシーの理解度
（２）知的財産に関する関心度と学修意欲、将来進路
（３）自身の意見を論理的かつ適切に表現できる思考力・言語力